

梅毒

千葉県の2016年1～29週の梅毒の届出数は73例となった。過去5年の同時期と比較し届出数が多く、前年同時期の2015年1～29週の届出数34例の2.1倍となっている(図1)。そのため2016年1～29週に届出された73例についてまとめた(図2)。

図1 2011年～2016年29週の千葉県の梅毒累積届出数 345例

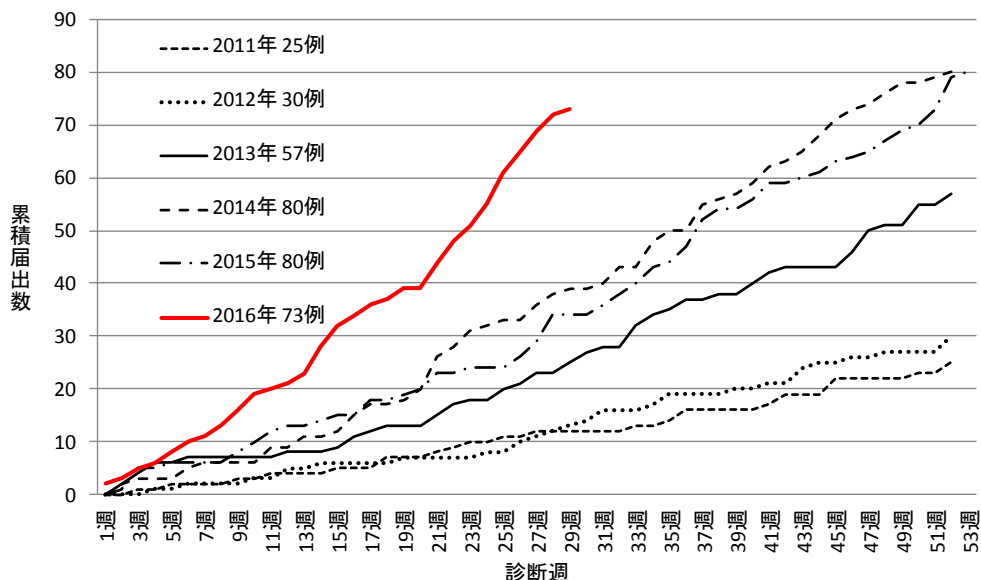
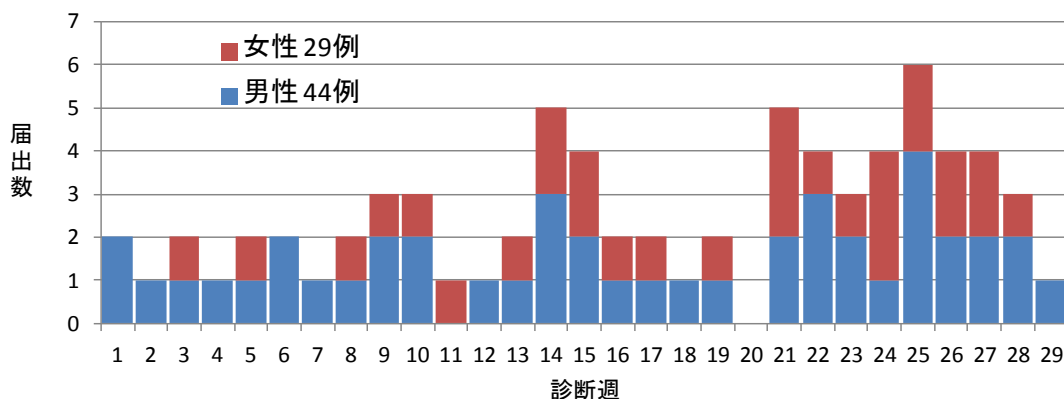


図2 2016年1～29週千葉県の梅毒 性別届出数 73例



保健所別では、千葉市17例、柏市11例、船橋市8例、松戸7例、市川6例、習志野5例、印旛5例、君津4例、夷隅2例、市原2例、安房2例、野田1例、香取1例、海匝1例、山武1例であった。

性別では、男性44例(60.3%)、女性29例(39.7%)であった。

年齢群別では、男性は20代が15例で34.1%を占め、女性は20代が13例で44.8%を占めた。

病型別では、男性は早期顕症梅毒(I期)20例(45.5%)、無症候(無症状病原体保有者)12例(27.3%)、早期顕症梅毒(II期)11例(25.0%)、晚期顕症梅毒1例(2.3%)で、女性は早期顕症梅毒(II期)15例(51.7%)、無症候(無症状病原体保有者)10例(34.5%)、早期顕症梅毒(I期)2例(6.9%)、晚期顕症梅毒2例(6.9%)であった。

感染原因・感染経路として推定または確定されたのは、男性は性的接触(性交)26例(59.1%)、性的接触(異性間)22例(50.0%)、性的接触(同性間)9例(20.5%)、性的接触(不明)9例(20.5%)が多く、女性は性的接触(性交)21例(72.4%)、性的接触(異性間)17例(58.6%)が多かった(複数報告あり)。